

製品安全データシート

作成日：2024年05月14日

1. 化学品及び会社情報	
製品名	CyLyse FXP Permeabilization Buffer
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911
緊急連絡電話番号	TEL：(078) 991-1911
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない	情報なし
他の有害危険性	
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物
成分の化学名	本製品は、安衛法、化管法、毒劇法に該当する物質を閾値以上含んでいません。
濃度又は濃度範囲	
CAS 番号	-
4. 応急措置	
必要な応急処置の説明	
吸入した場合	適切な呼吸保護具を着用し被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を直ちに石鹼と水で洗い、必要なら医師の診断を受ける。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	コンタクトレンズを外す。まぶたを大きく開き影響を受けていない目を保護しながら、流水で10-15分以上

飲み込んだ場合	洗眼する。必要なら医師の診断を受ける。 水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせないこと。 意識が無い場合は決して口からものを与えない。必要なら医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし 情報なし
5. 火災時の措置	
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	水噴霧、泡、炭酸ガス、粉末消化剤 棒状放水 火災により、一酸化炭素、二酸化炭素が発生することがある。 火災の場合は、自給式の呼吸器及び耐熱性保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	非緊急要員向け：「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護措置を参照。 緊急対応者向け：保護具については、「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。 排水溝／地表水／地下水に排出しない。下層土／土壤に排出しない。 砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、廃棄物処理法に従って適切に廃棄する（廃棄方法については「13. 廃棄上の注意」を参照）。 情報なし
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い 安全取扱注意事項 衛生対策 保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	この製品を使用するときは、飲食や喫煙をしないこと。 食品や飲料に近づかないこと。 休憩前と作業の後に手を洗う。蒸気を吸入しない。 容器を密閉して換気の良い冷所で乾燥させて保管すること。開封した容器は、漏れを防ぐために注意深く再封し、立てて保管すること。 常に元の容器と同じ材質の容器に保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	情報なし 情報なし 十分な換気を確保し、必要に応じて作業場で局所排気を行う。

保護具	
呼吸用保護具	作業場所のばく露限界値を超える場合は、作業に適した呼吸保護具を着用すること。エアロゾルやミストが発生する場合、作業場所の閾値が指定されていない場合は、適切な呼吸保護装置を講じること。
手・皮膚の保護具	耐薬品性の保護衣を着用すること。 皮膚接触の危険性がある場合は、保護手袋（EN 374 など）を着用する。保護手袋は使用前に特定の作業現場での適合性（機械的耐性、製品適合性、帯電防止特性など）についてテストする必要がある。保護手袋の使用、保管、手入れ、交換に関する製造者の指示および情報を順守すること。保護手袋は、物理的に損傷または摩耗した場合はすぐに交換する必要がある。保護手袋の恒久的な使用を避けること。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（EN 166）
特別な注意事項	情報なし

9.物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ（放射性、かさ密度、燃焼持続性）	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨される保管および取扱い条件下では安定である。 （「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照）

危険有害反応可能性	使用目的に応じて製品を取り扱う場合、危険有害な反応は予想されない。
避けるべき条件	炎、火花、加熱、霜から保護する。
混触危険物質	酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報	
急性毒性	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
その他の情報	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	-
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
付着している汚染容器及び包装	廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	

航空規制情報 (ICAO/IATA)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報 (IMO)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによる ばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	-
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	消防法、毒劇法の規制に従う
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

薬機法	非該当
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当

16. その他の情報

その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 安衛法：労働安全衛生法 化管法：化学物質排出把握管理促進法

データの主要な文献参照と出典

毒劇法：毒物及び劇物取締法

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する
法律

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, Annex VI
